



2009年4月15日

各 位

会 社 名 参 天 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 CEO 黒 川 明
(コード番号 4536 東証・大証第1部)
問 合 せ 先 : 執 行 役 員 管 理 本 部 長 原 田 哲
(T E L 0 6 - 6 3 2 1 - 7 0 0 7)

緑内障・高眼圧症治療薬タフルプロストに関するメルク社とのライセンス契約締結について

参天製薬株式会社(本社:大阪市)とメルク社(本社:米国ニュージャージー州)は、緑内障・高眼圧治療薬タフルプロスト(日本販売名「タプロス」、欧州販売名「タフロタン」)のライセンス契約を締結しました。参天製薬は、本契約に基づき、メルク社から契約時一時金、マイルストーンおよび売上金額に応じたロイヤリティを受け取ることとなります。

本契約により、参天製薬は西欧(ドイツを除く)、北米、南米、アフリカにおける販売権をメルク社に許諾することになります。東欧、北欧、ドイツおよび日本を含むアジア諸国の販売権については、参天製薬が引き続き所有します。なお、参天製薬はドイツ、ポーランドについてはメルク社から販売促進支援を受けるとともに、メルク社が米国で承認を得た際には、米国での共同販売促進の権利を受けることも可能です。

タフルプロストは旭硝子株式会社と共同開発したプロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤で、これまでに11カ国にて販売承認を得ており、日本およびドイツ、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、ノルウェーでは既に上市しておりますが、西欧、北米(米国では開発中)、南米へのより一層の拡販に向けて、メルク社との契約に至りました。

メルク社の副社長 Hogenhuis 氏は、「眼科領域に特化している参天製薬からタフルプロストのライセンスを得たことで、製品ラインアップ拡充につながるとともに、治療の選択肢を充実させるために、引き続き開発・グローバル化を進めていく」と述べています。参天製薬の代表取締役社長兼 CEO の黒川明は、「メルク社との契約は、タフルプロストの成長にとって大きな一歩となり、より多くの市場に届けられる道筋ができた」と述べ、タフルプロストがより多くの患者さんのQOL(生活の質)向上につながることを期待しています。

タフルプロストの特徴

- ・ 緑内障・高眼圧治療薬として世界的に使用されているプロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 誘導体制剤です
- ・ ぶどう膜・強膜流出経路からの房水流出を促進し、強力かつ安定した眼圧下降作用を示します
- ・ 日本人に多い正常眼圧緑内障患者さんにおいても確実な眼圧下降作用が認められています
- ・ 視神経乳頭近傍の網膜動脈の血流速度および網膜組織血流量の増加作用が認められています
- ・ 重篤な副作用は、眼局所・全身ともに認められていません

緑内障

緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が障害されて視野欠損が進行し、放置されると最悪の場合、失明に至る病気であり、眼疾患による視覚障害（視力低下、失明）の主な原因となっています。緑内障の視神経障害および視野障害は、基本的には進行性で非可逆的であるため、早期発見および早期治療が重要です。治療方法の基本は、眼圧の下降および長期にわたるコントロールです。

参天製薬について

1890年に設立し、売上高1,033億円のグローバル企業です。当社は医療機関に対して提供する主に眼疾患治療製品の研究開発および販売を行い、国内眼科薬市場ではトップシェアを確保しています。海外では、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを含めた子会社を持ち、世界市場にも基盤を固めています。

以上